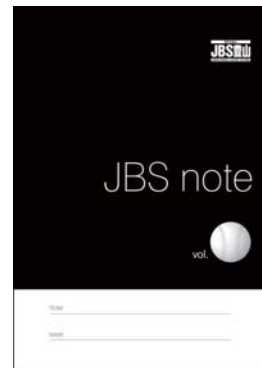


2018年 野球ノート(JBS note)配布 企画の概要と目的

2018年4月



概要 愛知県豊山町で2018年5月～11月にかけて開催される
NPO法人JBS豊山主催 第23回イチロー杯争奪学童軟式野球大会に参加する
約200チーム約4,000人の子ども達に、オリジナルの野球ノートをプレゼントします。
毎年この企画を行い、今年で6回目となります。

目的 野球をする子ども達に、夢と目標を持ってもらい
それを実現できるようサポートをすることが野球ノートの目的です。
目標を視覚化し、日々の努力を記録することは
自分の成功までの軌跡をイメージすることに大いに役立ちます。

野球ノート (JBS note) 過去5回の実績

野球ノート(JBS note)は2013年より毎年発行し、
イチロー杯に参加した子ども達にプレゼントされました。
また予備の冊子はAmazonにて小口協賛扱いにて全国に販売され、
2013年版～2015年版は予備の約1,000冊が完売となりました。

アンケートより

毎土日に教えてもらった事を忘れないように使用しました。
次の目標に一つずつ反省しながら向かうために使いやすかったです。(八幡学童野球クラブ)

選手とのやりとりに使用してますが備考の部分をもう少し多く欲しいです。(大口ワイルズ)

自主練ノートとして活用。クラブチームで指導された内容や試合や練習での気づきを記入し、
自主練で活用しました。(有松ジュニアーズ)

子ども達に毎週の練習の反省や試合での悔しさ・嬉しかったことなどを書かせ次の週に
コメントを書いて返す事をしています。(サンデージュニア)

野球に対する姿勢を勉強させる。自らを育てる為の手段として活用。(浅井少年野球クラブ)

野球ノート (JBS note) の内容



写真添付
 チームみんなの写真や目標とするアゴ野球選手の写真を貼ります。いつも見ることでモチベーションUP!



目標
 チームの年度目標や、自分の年度目標、そして将来の夢を書いて意識の向上を目指します。



スケジュール
 試合の予定や、練習の予定を書き込みます。



練習と試合の記録

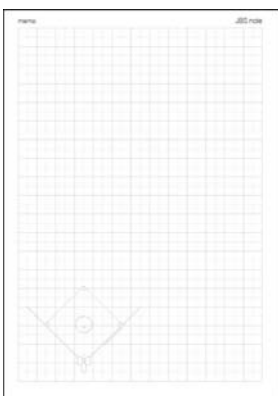
2ページ分の見開きで使用します。練習の日と試合の日、どちらもここに書き込んで下さい。また、体の不調や悩みなど、小さなことでも構わないのでここに書いてみましょう。指導者や保護者に口では伝えにくいことを知ってもらうのにも、このノートを利用して下さい。

練習の日

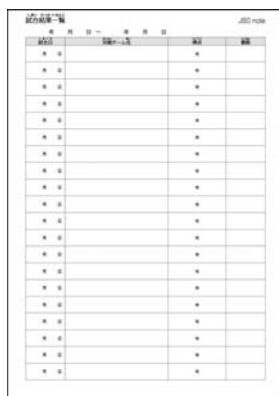
目標や内容、練習して思ったことや気付いたこと、監督・コーチへの質問や相談したいことなど何でも自由に書き込むことができます。図やイラストで記録するのも良いでしょう。

試合の日

試合があった日は、少なくとも試合結果は書き込みましょう。時間がとれるときは、試合の感想と今後の課題、対戦チームの特徴・良いところ、監督・コーチへの質問など、その日のうちに書き留めておくことをおすすめします。



memo
 思ったことや気になったこと、イラストなど自由に書き込んで下さい。



試合結果一覧
 様々な大会、練習試合の結果を一覧で見ることが出来ます。



協賛広告

野球ノート (JBS note) 協賛広告の効果について

効果

この企画の目的の多くは、スポーツを通じた社会貢献活動にあります。それにとまなう最大の効果は、企業のイメージアップ、既存のお客様やお取引先様からの評価、リクルート活動における認知度向上が挙げられます。

他の広告より優れている点

子どもが日々の活動を記録するノートに広告を掲載するため、他の媒体に比べ広告を目にする機会が多くなります。使い終わったノートは捨てずに大事に保管されるので、フリーペーパー等のようにすぐ捨てられる一過性の広告とは一線を画するものです。大切なノートにいつまでも協賛企業の名前が残りますので、数年先まで長く効果を期待できる広告であると考えられます。

野球ノートは、イチロー杯参加の東海地区の子どもだけでなく、全国から購入希望を頂いております。このノートを使った少年から将来の野球選手が出ることが私たちの楽しみでもあります。

CSR活動のひとつとして

昨今、多くの企業がCSR（企業の社会的責任）に取り組むようになり、ボランティア活動や地域活動への積極的参加をしています。野球ノートへの協賛をCSR活動のひとつと考えただく企業様もごございます。



イチロー杯争奪学童軟式野球大会について

イチロー杯は、イチローが抱いていた「野球の底辺を広げたい」という想いを地域の人たちが実現した大会です。

豊山グラウンドなど愛知県内いくつかのグラウンドで5月から11月の半年間にかけて行われます。

1996年に約90チームで始まった大会も年々参加チームが増え、2017年の第22回大会には202チームが参加。

参加チーム数が増えるにつれて大会参加チームのレベルも上がり、現在では、イチロー杯で好成績を残したチームは全国的にレベルの高いチームだと評価されるようになりました。



参加チーム数(2017年22回大会)
202チーム
(愛知:170 岐阜:26 三重:5 滋賀1)

各チーム登録選手数
10名~20名

参加選手の学年
小学生6年、5年、4年、3年



NPO 法人 JBS 豊山について

法人名

特定非営利活動法人 ジュニア・ベースボール・サポート 豊山

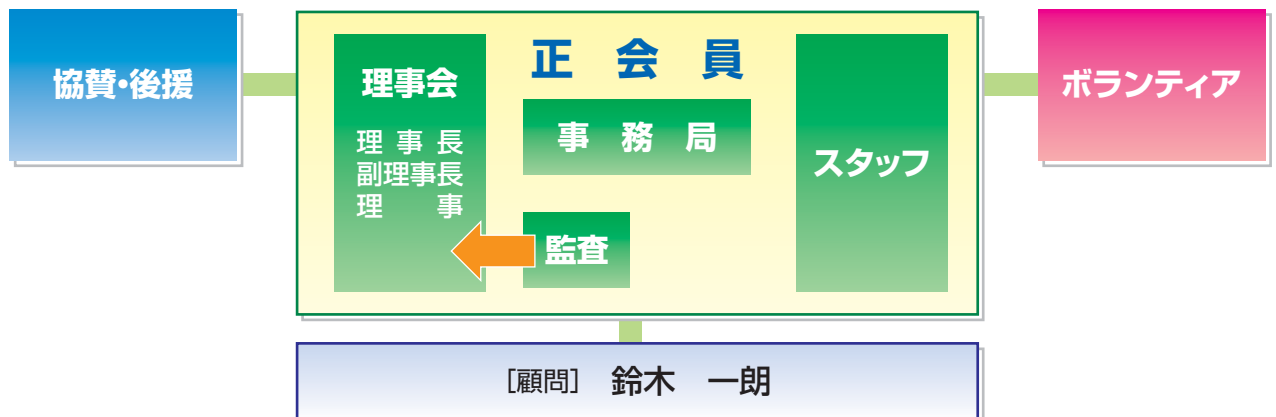
<通称> NPO法人 JBS豊山 (ジェー・ビー・エス とよやま と読みます)

事業

主な事業としては、イチロー杯争奪学童軟式野球大会の運営を行って参ります。そして、順次下記のような事業も行っていきたいと考えています。

- ① その他学童並びに中学生野球大会の運営をと推進
- ② 学童野球チーム間の練習試合等の仲介・支援
- ③ 野球スタジアムの誘致
- ④ 学童野球チームの海外派遣及び国際交流
- ⑤ 学童野球教室の開催
- ⑥ スポーツに関する講演会の開催、その他社会教育事業
- ⑦ 国際感覚を啓蒙するための様々な文化講演会の開催
- ⑧ ホームステイ等の受け入れ及び手配

運営組織図



「ジュニア・ベースボール・サポート豊山」の意味



法人名の「ジュニア・ベースボール・サポート 豊山」の意味は、法人の趣旨である、野球を主としたスポーツを通じて子どもたちの健全育成に役立っていかう、サポートしていかう、という意味です。

名称に「豊山」と入れたのは、豊山町に本拠地があるからだけではありません。豊山町はイチロー選手の出身地であり、豊山町スポーツ少年団で野球を学んだことをなど、イチロー選手の野球人生の出発点でもあります。豊山町を大切に思うイチロー選手の希望もあり「豊山」を入れました。